

ここで終わってはいない。戦争しまったが、よくわからが終わった後も、実に複雑である。つまり彼らが持つていて、な善感を感じていた。自分たる課題が、戦争が終わって、たちは事に由着内で、「」ら、何一つ戻らざりしは

満足していただけないでござるが、戦事を終わらせることにてなんの役立も立たぬがつたゞく、そちに心配をいたるわけぢやない。ほんじてこの點から御感想をお聞きするが、戦争の発端、戦争の起ひはば、国際本體を作らしむるに至り、したがふる如きを指していたのである。小閻さんの本の帯ではできなかつた。最終的に、たゞある「兵役拒否者は、独彼の立場に生きていたの善的な脳病患者なのかな？」、かといひれば、一方は、反子

これは非常ひどいヤツチ
ですよ。チベットは仕方がないとして、第二次世界大戦の支持
で、小閥自分たちは、あるに行き、もう一方は、それ
種の上から白旗を持ってしでも平和ないと言つて

さて、非議的・批判的な有り難い政策へ。僕の本は、つた。その結果、孤立した。第一次世界大戦期のイギリスとして、美意識には無力だったという特殊な事例を扱ったところである。良心的でいるよりは、貢献するかしないかが問題である。しかし、この二つの立場は、必ずしも

第一次世界大戦が一九一八年で終り切らぬままで、二は、今でも大事な話だと思ふ。零年代に課題を積み残して、舊制などいふことを聞くことは、よくないからうんざりする。それで経営

参上
入店
L(8294)0616~

価・御報即
本買
雲堂書
神田神保町1-9 TE

誠実評
古不
大雲
051 千代田区村

『101-0

卷之三

これが日本にとっての近代化
現代の分岐道になった事実
を明らかにしなければと思
つておる。

小説『三葉さんとおじいさん』の、もう一つ複数説が玉川へのじ
と山崎性の書かれたのが、少なくとも二つある。
画印へ贈ります。歴史 国田 三郎さんと豊田家

の出でば、表現しなかつたに終つて、すぐに一歩を踏み出せば、可能性がある。ならば、まだ、なんだな、という印象ある。そして、机の上まで、墨は、黄色のあつたんだ。

いぐわは 大事ですね。 普通歴史家は、いつを書く
最近、有意なことを言うのは恥ずかしいみたいな振
が歴史家の能力だという趣
る舞いをする人が多いかも
言の景徳を書いたんですね。
うござつて、その辺がうまいと

心 単に空腹するのじつひ 将来の展望が開けない
じでありますやうね。—— まあ、誰もが内向きで、
世紀の垣根に立った今こそ、どうやっていいほいか、

そ、端えていた感性や考
え方を見直さねばならぬ時
のいます。そんな時代だから
彼方に目を凝らすべきでは
こそ、人類が見失つてしま
ふべからず。

ないか「危機の二〇年」
と書われますが、反面あそ
あの危機と呼ばれた時代が
じまほし可能性があつた時代
もあらう。そんなり、「あらうなつて思はるつ」と

★まことに、こんなれば、「オペラの遺命」[西田洋次郎]の如きが見えてくる。度地球規模の禍害が見直す。(おの)

京都大学人文科学研究所教授
受・法制思想論著述等。東京大卒。著書に「法制
官僚の時代」、「キメラ」等。
★こなぎ・たかし氏は京都
和35年生。昭和35年卒。

レジデンスの歴史から」など。・イギリス・アイルランド
一九五〇（昭和25）年生。
★おかだ・あけお氏は京都
大学人文科学研究所准教授に「一八四八年」など。一
音楽学専攻。大阪大学大
九〇六（昭和35）年生。